

声を出すことだけが会話ではない

“伝えたい私の気持ち”

病気や障がいを理由に自分の言葉でコミュニケーションを取ることが難しい方がおります。しかし、「話すことができない＝考えていない・何も感じていない」ということではありません。声での会話が難しい場合、あなたならどうしますか。アクセシビリティという新たな視点を学ぶことで、誰もが社会とつながり、自分らしく生きられるような社会について、一緒に考えてみませんか。

2025

10.25^土 13:30~15:00
(開場 13:00~)

会場

名寄市立大学 図書館1階 大講義室
(名寄市西4条北8丁目) ※裏面会場図を参照

入場
無料

内容

第一部：当事者 岡田 彩夢氏 講演

「伝えたい私の気持ち」

第二部：東京慈恵会医科大学
アクセシビリティサポートセンター
高橋 宜盟氏 講演

「こっちがためなら、あっちがあるさ
～道が開けるアクセシビリティの考え方～」

どなたでも
参加可能

定員

申込先着 50名

→10月17日までに下記問い合わせ先までご連絡いただく
ほか、右記申込みフォームよりお申込みください。



【問い合わせ先】

名寄市健康福祉部 基幹相談支援センター
障がい相談支援係 (担当 中嶋)

TEL: 01654-3-2111 (内線3218)
FAX: 01654-9-2089
E-mail: ny-kikansoudan@city.nayoro.lg.jp

～登壇者紹介～

【第一部】伝えたい私の気持ち

講師：岡田 彩夢（おかだ あゆ）氏

2002年生まれ。名寄市出身。先天性の呼吸器疾患があり、人工呼吸器を使用している。市内小・中学校を卒業した後、八雲養護学校へ進学。同校卒業後は北海道医療センターで生活を送っていたが、本人・家族の「地域で生活を送りたい」という思いから、令和3年9月より市内に戻り、障害福祉サービスを利用しながら、一軒家にてひとり暮らしを送っている。

【第二部】こっちがダメなら、あっちがあるさ

～道が開けるアクセシビリティの考え方～

講師：高橋 宜盟（たかはし よしあき）氏

アクセシビリティ・コーディネーターとして、病気や障がいのある人たちに向けてICTを活用したコミュニケーション・日常生活支援を行っている。2021年からは東京慈恵医科大学アクセシビリティサポートセンターの訪問研究員としても活動中。アクセシビリティとは「近づきやすさ」「利用のしやすさ」などと訳されるが、「こっちがダメならあっちがある」という柔軟な考え方がアクセシビリティであると日頃から啓発活動に取り組んでいる。

会場・駐車場案内



令和7年度 理会促進研修・啓発事業 市民向け講演会 「声を出ることが会話ではない“伝えたい私の気持ち”」参加申込書

所 属

申込代表者

電話番号

〔申込者一覧〕

No.	氏 名	役職等	備 考
1			
2			
3			
4			
5			

お申し込み方法

① FAXでのお申込み

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、下記番号までFAXにてお送りください（送付状は不要です）。

FAX：01654-9-2089

② 電話またはE-mailでのお申込み

名寄市基幹相談支援センターへ上記方法でご連絡ください。

その際、参加申込書の必要事項をお教えください。

TEL：01654-3-2111（内線3218 担当 中嶋）／E-mail：ny-kikansoudan@city.nayoro.lg.jp

③ 専用フォームからのお申込み

下記の2次元コードを読み取っていただき、必要事項をご入力ください。

▶ お申込みフォームはこちら



※定員になり次第、受付を締め切らせていただきますので、お早めにお申込みください。